

雪下ろしマニュアル（雪下ろしについて）

作業にあたっての注意事項

- 雪下しは1mを超える前に行ってください。
- 死亡事故の8割が65歳以上の高齢者です。
- 事故の半数はハシゴからの転落なので注意してください。
- カーポートなどの低い屋根からも事故は起こっているため油断しないでください。
- 体調が悪い時は作業しないでください。
- 飲酒後、薬服用後などは作業しないでください。
- 2人以上で作業を行ってください。
- 6m75cm以上の高所での作業はフルハーネスを使用してください。

雪を落とす場所の確認

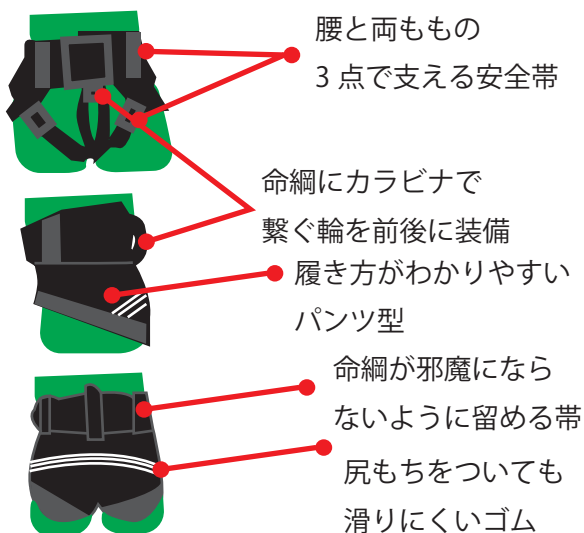
- 堆雪場所を十分に取ってください。
- 窓や玄関など出入口を塞がない事
- 煙突や室外機、灯油タンク、ボイラー等の上は避けてください。

作業に必要な服装

作業で使用する道具

- スコップ
- スノーダンプ
- ロープ（径8mm～9mm）
- カラビナ又はフック
- ハシゴ（長谷川工業の雪下ろし用がおすすめ）
- タオル
- 着替え

作業前の準備 （墜落制止用器具）




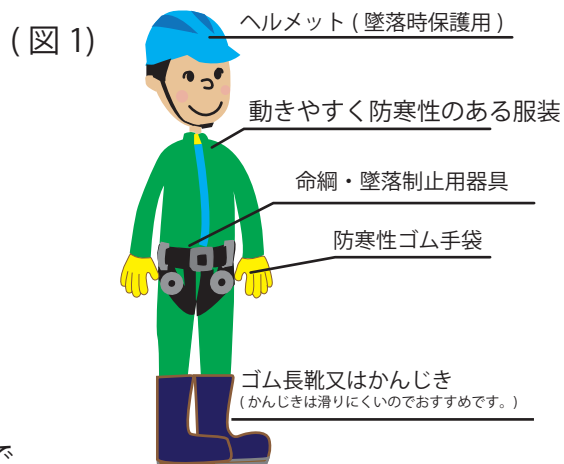
雪下ろしは命に関わる作業です

- 注意して作業してください。
- 特に読んで頂きたい事項には… ⚠
- 禁止行為には…………… ⚡
- おすすめしたいことには…………… 😊

■ 雪下ろし手順

1. 作業に必要な服装・道具を装着してください。(図1)

 低い屋根では腰ベルト(中越防災フロンティア製)シットハーネスタイプがおすすめです。



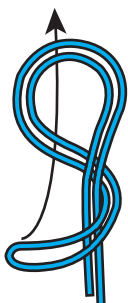
2. スノーダンプやスコップにロープをカラビナ又はフックで連結させてください。結び方はエイトノットがおすすめです。(図2)

(図2)

①



②




③



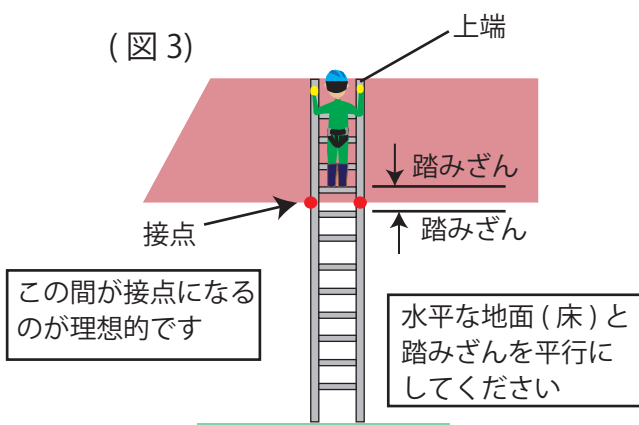
完成

カラビナ
又はフック

3. 屋根にハシゴを掛けます。ハシゴを掛ける際は図3のようにハシゴの上端部分が顔の位置にくるようにしてください。(図3)

 体をかがめることなく直立のまま屋根へ移動できます。

(図3)



- 屋根の高さより高いハシゴを準備してください。(長谷川工業の雪下ろし用ハシゴがおすすめです)
- ハシゴ固定用アンカーがある屋根の場合はハシゴを固定してください。
- ❗ 先の作業者が屋根に登るまで他の作業者はハシゴを押さえてください。
- ハシゴを登る際、スノーダンプやスコップを結んだロープを持ったまま登ってください。


4. 他作業者が屋根に登りきる事を確認してください。

ハシゴと屋根の角度は75度にしてください。

5. ロープを引っ張ってスノーダンプやスコップを引き上げます。

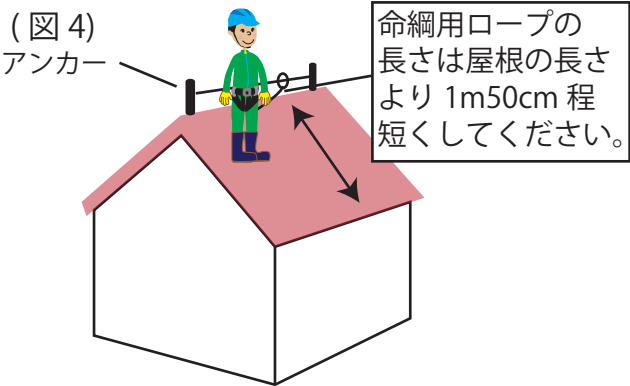
6. 屋根アンカーを掘り出し命綱をアンカーに取り付けます。(図4)

命綱用ロープの長さは屋根の長さより1m50cm短くしてください。屋根から落下した場合宙吊りになり、引き上げることが困難です。



(図4) アンカー

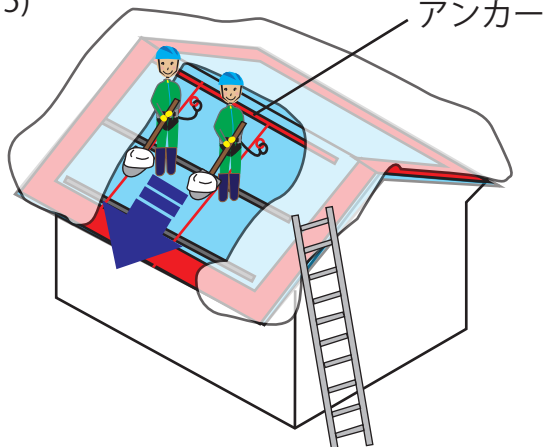
命綱用ロープの長さは屋根の長さより1m50cm程短くしてください。



7. 引き上げたダンプやスコップからカラビナ又はフックを外します。

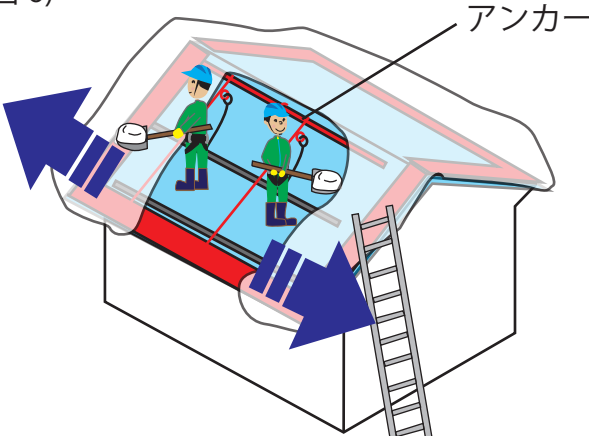
8. 屋根の中央部を真下に向かって軒先から雪を滑らせるように落としてください。(図5)

(図5) アンカー



9. 体を横向きにし、両端の雪をダンプやスコップで下降に滑らせて雪を落とします。繰り返し除雪をしてください。(図6)

(図6) アンカー

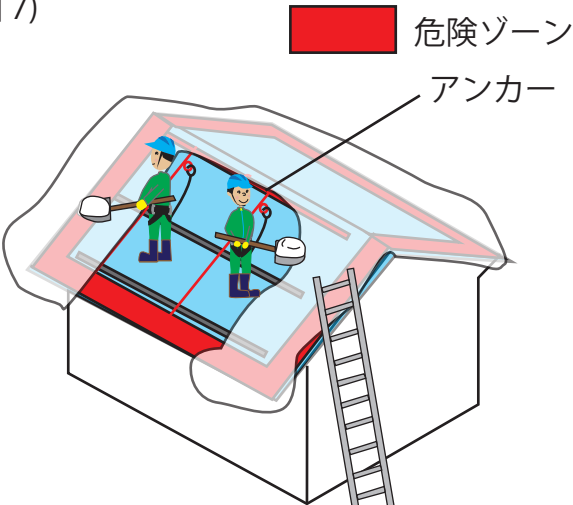


10. 危険ゾーンには足を踏み入れず、スノーダンプやスコップのみを出します。(図7)

きれいに除雪しすぎると足元が滑りやすくなるので10～20cm雪を残して除雪します。

11. スノーダンプ、スコップをロープに結び、屋根から降ろします。

(図7) 危険ゾーン アンカー



12. 命綱ロープをアンカーから外しハシゴを使用し屋根から降ります。

降りる際は、作業者同士でハシゴを押さえ合い安全を確認しながら降りてください。

—道具のお手入れ—

スノーダンプやスコップは錆びを落としてワックス、ロウを塗ると雪が付着しにくくなり作業がしやすいです。